

令和4年度第6回小山市立生涯学習センターの連携等に関する運営懇話会
議事録

- 日時 : 令和4年7月11日(月)
- 時間 : 10:00~11:00
- 場所 : 小山市立文化センター 小ホール
- 出席者 : 18名(別紙1 委員名簿のうち18名)
- 事務局 : 小山市教育委員会 生涯学習課
(濱口教育長、上野教育部長、宮田生涯学習課長、川俣同課課長補佐兼生涯学習係長、
同係酒巻主査、田中(絵)主査、堀主査、児矢野主査、大巴主事)

- 1 開会
- 2 教育長挨拶
- 3 懇話会

(1) 報告事項

①「前回(第5回)の懇話会について」

別紙1に基づき説明

(2) 議事及び事務局説明事項

①提言書(案)について

別紙2に基づき説明

②意見交換

A委員

提言書P2の2行目、「今後の小山市の状況に応じた運営形態を探るため」とありますが、ここの目的の置き方がしっくりこなくて。内容はこういうことだとは思いますが。

例えば、「今後の小山市の状況に応じた生涯学習センターの機能の充実を図り、それに**応じた運営形態を探るため**」とした方がよいかと思いました。ただ、今回の懇話会は運営についてずっと語ってきているので、運営を探るという文章としてもよいのですが、その前に生涯学習の充実とか、生涯学習センターの機能の充実などの言葉を入れたほうがよいかと思いました。私の言った文章が本当によいというわけではないのですが、目的が最初に書かれて、それに**応じた運営形態を**試行錯誤するという文章にしたほうがよいのかと思いました。

⇒事務局

ありがとうございます。ぜひこの言葉を入れていただきたいと思うのですが、皆様はいかがでしょうか。

B委員

そのままでも、このような内容で参考にとということ。

A委員

趣旨としては、大きな目的が先に合って、そのために**運営形態を探る**ということ。

⇒事務局

ありがとうございます。

陣内会長

では、参考意見ということで。

C委員

意見ということではないのですが、今まで委員の皆さんのいろいろな立場から、たくさん異なった意見をいただきました。その中で、それらの意見を最大限に活かしながら、小山市の将来の生涯学習の在り方について謳った素晴らしい提言書にまとめていただいたと、私は思っております。短期間でここまでまとめていただいた生涯学習課の皆さんに敬意と感謝を申し上げます。

ただ、付帯意見として様々な注文がついております。これらの内容を実際に具現化していくことは並大抵のことではないと思います。この懇話会でも、生涯学習に関する理念から入りまして、今まで小山市に欠けていた部分についても真摯に反省がなされるなど、ともども勉強し、それに直接関わっていただいた生涯学習課の皆さんの熱意と、真摯に市民の声を聴こうとするような態度で実施したら、必ずよい方向に発展がなされるだろうと確信してご期待申し上げます。ぜひ自信を持って頑張っていたきたいと思います。感想になりますけれども。ありがとうございました。

D委員

短期間でここまでまとめられたことに事務局の方には労いの言葉をおかけしたいと思えますし、委員の皆様も本当に活発にご協議いただいた成果なのだなと思えます。

今日が最後の懇話会ということですので、この後の取り扱いということになりますが、時間的な制約もありますので、今日出された意見も含め、事務局と会長の方で進めていただき、提言書については会長一任という形をとっていただけたらと思います。

陣内会長

他に意見はございませんか。

それでは、提言書(案)について、先ほどのA委員の意見も参考に、若干手直しするところもあるかもしれませんが、私会長と事務局に一任という形でよろしいでしょうか。

⇒異議なしとの声。

陣内会長

ありがとうございます。

(3)その他

①市民アンケート結果について

別紙3に基づき説明

【質疑応答】

E委員

アンケート結果を見させていただきましたが、ハード面をどうするかという問題があると思います。特にアンケート結果のP18で、ギャラリー、ホール、ラウンジ、セミナー室に関して、年数が経過していることによる様々な問題がありますよね。あとは駐車場の問題。P22にあります。駐車場の問題はやはりネックなのです。講座を受けるのは安いけれども、駐車料金がかかるので無料にしてほしいとか割引してほしいなど。これはずっと継続している課題ですので、予算の関係もありますし、検討をしておかなければならないと思いました。

⇒事務局

ありがとうございました。ハード面については、今までもアンケートを実施すると出ていた問題でもありますので、改めて担当課との話し合いや、予算の面での検討などをしていきたいと考えております。

(4) 諸連絡

事務局

この懇話会で作成していただきました提言書なのですが、最終的には本日いただいたご意見を含め整えまして、7月14日（木）16：45～陣内会長と宮内委員に、小山市長ならびに教育長にご提出いただくことを予定しております。提出していただくのはお二人なのですが、もし同席したいという方がいらっしゃいましたら、事前にご連絡いただければ同席可能となっておりますので、その際は生涯学習課までご連絡いただければと思います。

懇話会ですが、今年度は全6回を想定しておりまして、本日の開催をもちまして、今年度の活動は一旦終了となります。今後につきましては運営委員会の設置に向けて準備を進めさせていただきますと考えております。

教育長挨拶

4月26日の第1回から全6回に渡りまして、委員の皆さまにはお忙しい中、この懇話会にご出席いただき、そして素晴らしいご意見をいただき、本当にありがとうございました。お陰で、今日の終了時点で、提言書という形で今までの全ての協議を集約し、まとめることができました。本当にありがとうございます。

生涯学習の在り方というとても大きな問題からスタートし、教育委員会としても不安の面がありました。しかし一回一回の会議で委員の皆さまにご意見をいただく度に、生涯学習課を中心として協議を重ね、市長部局の各部長が集まる会議でもその都度報告し助言をいただけてきました。やはり全庁をあげて市で考え、色々な方のご意見を聞きながら一つにまとめていくということはとても大事なことで、この会議の課程を見てとても勉強になりました。

小山市の生涯学習の未来について大事なことが今決められようとしていることに、嬉しさと同時に本当に身が引き締まる思いです。またお世話になる機会があると思うのですが、お気づきのことがあればぜひ、お力添えをいただきたいと思います。

全6回に渡りまして本当にありがとうございました。

(4) 閉会

小山市立生涯学習センターの連携等に関する運営懇話会委員名簿

任期：令和4年4月1日～令和6年3月31日まで ※敬称略

No.	選出 区分	ふりがな 氏名	役職等
1	生涯学習関係団体・ 関係施設	すずき くみこ 鈴木 久美子	社会教育委員 委員長
2		ひきはし みきお 引橋 三佐夫	生涯学習推進協議会 会長
3		くりはら としこ 栗原 要子	公民館運営審議会 会長
4		かきざき まさよし 柿崎 全良	青少年健全育成連絡協議会 会長
5		きし としこ 岸 利子	生涯学習センター利用者 オカリナアンサンブル小山
6		なかの はるなが 中野 晴永	車屋美術館 館長
7		やぎ としのり 八木 利典	小山市自治会連合会 理事
8		きむら かずこ 木村 和子	小山市小山城南市民交流センター「ゆめまち」指定管理者 あさひコミュニティ推進協議会 事務局長
9		こばり きょうこ 小針 協子	小山市市民活動センター「おやま〜る」 副センター長
10		みやうち せつ子 宮内 せつ子	小山商工会議所 女性経営者会 代表
11		ふくもと よしゆき 福本 佳之	小山駅周辺地区まちづくりプラン検討委員会委員 小山商工会議所青年部 直前会長
12		すずき まさとし 鈴木 正俊	栃木県教育委員会事務局 下都賀教育事務所 ふれあい学習課 副主幹
13	学識経験者	じんのうち ゆうじ 陣内 雄次	宇都宮共和大学 シティイブ学部 教授 宇都宮大学名誉教授 栃木県教育委員会 委員
14		こだま ひろあき 児玉 博昭	白鷗大学 法学部 教授 栃木県行政改革推進委員会 会長
15		いしい だいいちろう 石井 大一郎	宇都宮大学 地域デザイン科学部 コミュニティデザイン学科 准教授
16	市議会議員	あおき みちこ 青木 美智子	小山市議会議員
17		ふくだ こうへい 福田 幸平	小山市議会議員
18		しまだ せきお 嶋田 積男	小山市議会議員